



市議会議員
砂田喜昭
67-4322



参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

党市政策委員長
石山忠義
67-3525

党県政対策委員
上田ゆみ子
68-2106

志位委員長 富山へ

日本共産党街頭演説会

日時 8月4日(火) 午後5時より

場所 富山駅 C1C前広場



志位和夫委員長

日本共産党の志位和夫委員長が8月4日、富山へ入り、日本共産党の比例代表北陸信越ブロックでの必勝を訴え、みなさんの参加を呼びかけます。

会場へは公共交通が便利です
JR普通電車 石動駅発 午後4時24分
(富山駅着 午後5時4分)

スローガン
命を生みだす母親
は命を育て命を
守ることをぞみま
す

すべての子どもと女性の幸せ、そして語り学び合いたい願いを持って、女性たちが世代をこえて集う場が母親大会です。
1955年に第1回日本母親大会が開催され、今年で55回をむかえました。
今年も7月25日、26日、京都のべー方7500名の女性が全国から集まりました。富山県から

全体会

嵐のような大雨の中、京都府立体育館のフロアー、スタンド、通路は、人、人、人であふれました。アメリカ、韓国から参加した核兵器廃絶を願う活動している女性の挨拶もあり、大きな拍手がわきました。

有馬さんはお釈迦様の「不殺生」の心、慈悲の教えのもと、世界のさまざまな人と、さまざまな形で平和のために活動してきた経験を交えて話をしてくださりました。

朝4時から仕事をする職人さんの力で、繊細な金箔を貼った金閣寺は守られています。後世に残るのは文化であり、文化は環境が壊れ

るに残らない

文化や自然という環境には、小さな虫から人間まで命が生きています。命はこの環境に愛され育てられて輝いているのです。文化や自然を壊し、そこに生きている命を奪う核兵器、戦争は、ほんでもないと。日本には憲法9条があります。平和のため9条を守りましょう。

自身の母やレクナの母を例に、母親の力で人間尊重の心、仏様の慈悲の心を子ども達に伝えましょう。京都から世界を平和に、母親大会と手を携えていきたいですね」と話されました。

有馬さんは慈悲の心を実践しているお坊さん、庶民の暮らしがよく分かっている人、と小矢部からの参加者は感想を話していました。



オープニングで歌う「京都のうたごえ」のみなさん

分科会

4つのテーマに別れて話し合われました。

格差社会 克服のために

第41分科会では、新自由主義と格差社会。今後の世界のあり方というテーマで神戸大学の二宮厚美教授の講座がありました。こんな難しいテーマ、マにもかわらな、300人を超えるたくさんの人が参加し、話を聞き、意見を交わしました。

今の不況は単にアメリカ発の金融恐慌だけではなく、日本の構造改革路線で、労働間、地域間、世代間などに格差が作られたことが原因になっている。アメリカでは貧困層は軍隊に行くか、サラ金もどき

ピン生活を仕組まれたかした人たちがさらに貧困と心の間に落とされていく。憲法9条もつち条もないアメリカの人々はそこから抜け出せないでいる。日本には憲法があるから、派遣村に集まらざるを得なかった人たちも、今の日本変だぞと気づきだした。ボランティアの人々の助けで、生きる希望を見だし、頑張りだした人たちがたくさんいる。

格差社会、これを克服するために、オバマ大統領の言うグリーンニューデールに加え、福祉の充実をさせるホワイトニューデール、働くものの最低賃金を上げるレッドニューデールの3つのニューデールが当面必要である。

第55回日本母親大会 京都に集う

記念講演

「いのちの輝き それは平和であればこそ」

有馬頼底さん(京都佛教会理事長 臨濟宗相国寺派管長 金閣寺・銀閣寺住職)



講師の有馬頼底さん

有馬さんは慈悲の心を実践しているお坊さん、庶民の暮らしがよく分かっている人、と小矢部からの参加者は感想を話していました。